緩和 IVR

緩和 IVR（Interventional Radiology: 画像下治療）とは、がんの転移などで痛みや出血の症状がある場合、血管内にカテーテルを挿入してがんの近く、もしくは内部に直接薬剤を届ける治療法です。また当院では、琉球大学病院などの関連病院と連携し、放射線照射と組み合わせながらがんの進行を抑える治療も行っています。

●緩和 IVR の主な効果

・痛みの緩和：がんを小さくすることで痛みの症状を和らげます。
・止血：がんや周辺組織から出血している場合、塞栓物質を用いて出血している血管を詰めることで止血します。
・進行の抑制：他に有効な治療手段がない場合、緩和 IVR と外照射を組み合わせて進行を抑制する治療を実施しています。

●治療を受けるまでの流れ

（当院受診中の方）

① 原則として院内紹介となるため、当院の内科や外科の主治医から放射線科への紹介をお願いします。
② 診断担当医（古賀)、治療担当医（有賀）で病変の状態、患者様の状態を確認し、治療の適応を判断いたします。関連病院での治療が適切であると判断された場合は、治療の適応はその関連病院で最終的な決定がされます。

（他院受診中の方）

① 罹患している癌腫に応じて、かかりつけ医から当院担当診療科外来宛て（通常はかかりつけ医と同じ診療科です）の診療情報提供書の作成を依頼し、外来予約を行って下さい。
② 当院担当外来を受診していただき、外来担当医と前述の放射線科医適応判断を行います。
③ 以降は上記②と同じです。必要に応じて関連病院への再紹介を実施いたします。